

入居者様作品

※先月号の続きの短編小説です。前回は、体調の回復した志乃の元を訪れた一正が、石川県への旅行についての相談をするところでした。さてさてどのような展開になるのでしょうか。

函館までは、結局一正の運転で車で行くことと決まりました。函館まではそれなりの時間がかかるし、ほとんど遠出をしたことが今までない志乃には不安だった。出発前に母が志乃に、紙にくるんでそつとお小遣いを渡してくれた。本当なら母も一緒に行きたい気持ちもあるのだから、亡くなった志乃の父との思い出が蘇るのが逆に辛いと、志乃に託したのだった。

一正の車に乗り、旅立つ志乃を母は手を振って送っていた。一正は、「なあに、今生の別れじやあるまいし、そんな顔するな。まるで俺が悪い奴みたいじゃないか。姉さんはなんも元氣だし心配ないから、志乃は自分のことだけ考えていいと思うぞ。」と気楽に言う。思えば生まれてからこの方、志乃はずっと母と一緒に過ごしてきた。父は

志乃が生まれてからすぐに亡くなっていくし、記憶にもほとんどなく、ただ、母が大事にしまっている写真でだけしか見たことがなかった。小さい頃から何度も父に会いたいとは思っていたが、そのことを一度口にしたら時の、母のつらそうな顔を見て以来、ずっとその気持ちは志乃の心のうちにはまっとうおいたのだった。

そんな志乃の気持ちなど露知らず、一正が厚顔無恥に言うものだから、志乃はそれに怒りがこみ上げてきた。だが、せっかく遠出の旅を志乃の為に考えてくれた一正の気持ちを台無しにはしたくない志乃は、その気持ちも抑えるのだった。車中、一正は上機嫌にずっとしゃべりっぱなしだった。ここはどこぞとかが、なかが美味しいところなんだぞとか、それぞれの地域の案内をまる

でガイドなのかと思ってしまうくらいに詳しく説明するものだから、志乃は感心するとともに笑いそうにもなっていた。室蘭あたりまで来たが、志乃は疲れたのか、眠たくなってきた。「寝ててもいいぞ、着いたらちゃんと起こすから。」と一正が言ってくれたのを聞くやすぐに眠りに入る志乃だった。

【続く】

※次回はよいよ函館編となるそうです。楽しみですね。



厚岸町立特別養護老人ホーム 心と園 広報委員会発行

新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶申し上げます。日頃より、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様、関係者各位の方々からの温かいご支援とご協力を賜り、無事新年を迎えることができましたことを心より御礼申し上げます。

昨年が年号が平成から令和に代わり、心と園でもまた新たな取り組みを実施してきました。生活相談員・ケアマネージャーの役割分担の明確化、11月からは、多床室を第1フロア・第2フロアに分離化、介護職員のスキル向上を目的とした定期的

な個別研修の実施など、新たな体制を構築しました。また、温冷配膳車の導入や畳の入れ替えなど施設環境を整備するとともに、利用者様おひとりおひとりの個性に配慮する取り組みも行っています。利用者様の趣味を参考にしたレク活動の実施や行事の企画などです。居酒屋「和み」の開催や外出行事のほか、昨年は特に自治会の皆様のご協力から多くの地域交流行事への参加が実現しました。

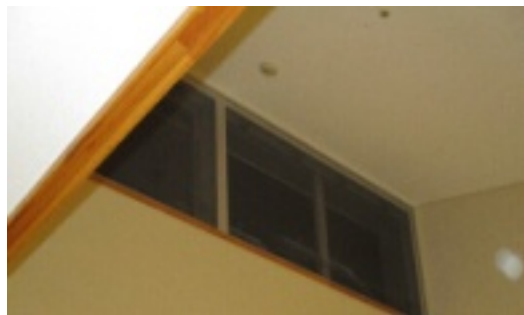
施設長 永川 浩志

古布切りのボランティアのお願い

心と園ではお尻拭きの用途として古布を切ったものを捨て布として使用しています。黎明でも古布寄贈ご協力をお願いをさせて頂きまして、これまで多数のタオルや衣類、シーツなどの古布が心と園に届いています。その古布を使いやすい大きさに切っていた方を心と園ではボランティアとして募集しております。作業場所は心と園内もしくはご自宅に持ち帰っていただいても構いません。ご協力いただける方は心と園(5216373)までご連絡ください。何卒よろしくお願い致します。

防災訓練を実施しました。

令和元年12月26日18時半より、夜間の火災を想定した防災避難訓練を実施しました。実際の夜間帯の時間に火災が発生した場合、職員がどのように入居者様の避難誘導を行うのか、改めて振り返る機会となりました。今回の避難訓練は年末ということもあり、心と園単独での訓練としています。入居者様には参加可能な方々にご協力いただきました。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願い致します。今年には正月から大きな積雪などもなく、過ごしやすかったです。今回の黎明1月号は昨年12月に行われた行事や年始の行事などを中心にお届けしてきました。年末年始は皆様ご家庭でも様々な行事がありますが、心と園でも正月ならではの行事が行われました。スナップ写真からその様子が伝わればと思います。

今年も心と園広報誌『黎明』は毎月1回の発行を予定しております。今後も心と園からのご連絡や、また入居者様の生活の様子をお伝えしていければと思います。また、「こうしたらどうだろう」といった広報誌へのアイデアなどがございましたら実際に反映していければと思います。ので、ご意見やご希望もお待ち申し上げております。お気軽にご連絡をお寄せください。

病気の理解・身体拘束廃止に関する研修を行いました。

令和元年12月17日に病気の理解に関する研修と身体拘束廃止に関する研修を心と園面会室で行いました。

今回の研修は心と園・ユニットの介護職員、他、デイサービス職員・清掃員も参加しました。

病気の理解に関する研修は、今回は「糖尿病」について重点的に学びました。講師は心と園看護師が行い、医療面からみた病気の概要の説明、糖尿病患者の留意事項や、食生活などの注意点などなどの説明がありました。身近な病気であり、また入居者様でも既往がある方が多い疾病であることから、今後の介護の支援においても多に活用していけることを学べたと思います。

また、病気の理解の研修の後には身体拘束廃止に関する研修も行っています。身体拘束は法律で禁止されています。心と園では定期的に身体拘束廃止委員会を開催し、身体拘束となる可能性がある

対応がないかどうか精査しております。職員が新たな知識を活用できるようになることは心と園の入居者様の利益ともなることです。今後も、より入居者様に満足していただけるサービスの提供を実現できるよう、心と園全体で努力してまいります。



手打ち蕎麦（ユニット）



令和元年12月20日にユニットにて手打ち蕎麦が振舞われました。今回の手打ちそばは、根布谷昌男様に全面的にご協力いただきました。手打ち蕎

麦ということで、蕎麦が大好きな方はもちろん、あまり蕎麦を食べない入居者様まで、皆さん美味しくいただいたようです。普段食が細かい方も、

「美味しいからおかわりもらえませんか。」と笑顔で話されていました。蕎麦のコシや香りが一味も二味も違うようで、皆様大変喜ばれていました。ご協力いただきました根布谷様にはこの場をお借りして改めてお礼申し上げます。

心和園カラオケ大会



令和元年12月18日15時より、心和園地域交流ホールにてカラオケ大会が行われました。昨年に続き今年度も歌が大好きな入居者様が自慢の歌を披露してくださいました。参加者全員でリンゴの唄を歌うなど大変盛り上がり



年始行事スナップ

三箇日にはカルタや宝引きなどお正月ならではのレクリエーションが行われました。入居者の皆様に楽しんでいただけたようです。



クリスマス会（多床室）



令和元年12月24日にクリスマス会がありました。今年は、地域交流ホールでゲーム大会が行われ、クリスマスのケーキも振舞われましたよ。



心和園 スナップ

クリスマス会（ユニット）

令和元年12月24日にクリスマス会を行いました。皆様クリスマスプレゼントとケーキに大変喜ばれており笑顔で楽しんでいました。



永塚様誕生会



令和元年12月5日に永塚久仁恵様の誕生会が行われました。歌の大好きな永塚様、最近声が前より大きくなっていきたと話されていますが、12月18日に行われたカラオケ大会で

は大変素敵な歌声を披露してくださいました。今後もお元気に過ごしていただき、また、得意の「むらさき雨情」をみなさんに聞かせてくださいね。

瀬川様誕生会



令和2年1月1日は瀬川正様の誕生日でした。娘様、お孫様方もお祝いに駆けつけてくださり、大変うれしいお祝いの日となりました。

焼肉パーティー

令和元年12月20日17時より、焼き肉が大好きな入居者様と焼肉パーティーを行いました。職員も参加し、談笑しながら皆さん美味しくお肉をいただきました。是非焼肉しましょうね。

